

10
月号

第357号

いっしん

平成26年(2014年)

金光の
救えは家を
とどのえて
国のいしずえ
築くにぞある

甘本親教会
初代親先生み致

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》



霊前に供えられた玉串



秋季霊祭仕えられる (9/23)

故サタ子親奥様が何年も前に植木鉢に植えられてあった、毎春花芽を出さない彼岸花の株から、お彼岸の数日前に二ヨキニヨキと花芽が出て、初めて一輪だけ花が開きました。それも白い彼岸花でした。

以前にへ教会にも白い彼岸花の株があるといいのにと考えたことがありましたが、故サタ子親奥様もそんな思いがありだったのかも知れません…。

○○*

金光教で先祖の霊様をお祀りされてある教徒の方も、仏教でお祀りされてある信徒の方も、それぞれ先祖を祀る方法は違っても、皆天地の間に生かされて生きる神の氏子ですから、春秋の霊祭ではどの霊様もお祭り申し上げております。

ご神前で奏上祭が仕えられた後、ご霊前に転座後、加治木教会にご縁のあるお道の教師をはじめ、教徒・信徒のすべてのご霊神様方のみ名を読み上げて、ご霊神様にお礼申し、お称えお慰びお慰め申して、親神様のみ恵みを受けられてひときわ高い位のご霊神となられて、ご安心され、家族親族を守り導くお働きができればるようお祈り申し上げます。

今秋も教徒・信徒一同、心を尽くしてみ祭りをお仕えさせていただきます。

秋季霊祭…P1 教祖様ご生誕200年信奉者集会…P2 星原家・牧野家結婚式…P3
年代別キャンプに参加して…P4~5 青年の広場講話…P6~8 教会行事…P10

鹿児島地方教会連合会 主催
 九月七日
 教祖様ご生誕二百年 (日)
信奉者集会 開催される

金光教鹿児島地方教会連合会において、教祖様ご生誕二百年のお年柄にあたり、連合会を挙げて勢をそろえて信心を進め、お道の興隆に取り組み、各教会の活性化につながるための行事として「教祖様ご生誕二百年記念 信奉者集会」を地元の加治木町「加音ホール」(第一、三会議室)にて開催することとなり、計画・準備を進めてこられました。

「教祖様ご生誕二百年記念 信奉者集会」では、大きく午前と午後2部に分け、午前の部は映画「おかげは和賀心にあり」(教祖百年祭記念作品・鈴木瑞穂主演)を鑑賞し、午後

の部では、金光教都城教会長 乗原一嘉先生(六十七才)のご講話を聴かせていただきました。

映画「おかげは和賀心にあり」を三十年ぶりに鑑賞させていただき、三十年前の自身と比べ、すいぶん深い見方をするようになっており、製

作の裏側にある祈りや願いがひしひしと感じられる気がしました。

ご講話は「おかげの中のいのち」という講話で、九十分のご講話を拝聴させていただきました。まず、乗原先生ご自身が四才の時に命を救われた熊本県多良木教会初代教会長北御門イサ工先生のご教導。次に、社会人となられお道の教師にお取立て頂かれるまでのご信心のあゆみ。終盤には、平成十七年に見つかった膀胱癌で、平成二十三年までに六回にわたる再発と手術を繰り返される中で、神様が「おかげの中の命」という自覚を深化させて下さってあることについて、感慨深くお話し下さいました。(貸し出しCD教会で準備予定)



乗原一嘉先生(都城教会長)



また、午前の部の開会式前には、鹿児島地方教会連合会の青少年で構成され練習を続けている「ひつとべバンド」の演奏があり、加治木教会バンド隊も練習を重ね演奏のおかげを蒙らせていただきました。



馬渡三郎先生(志布志教会長)



閉会式皆で手をつなぎ「教祖様おめでとう！」

昼食休憩時間には「チャリティーバザー」(不要な新品等を持ち寄り、収益金は災害救援・社会活動の支援金とバザーを担当する女性委員会の運営資金となる)を開催されました。

また、閉会式では馬渡三郎先生(志布志教会長・連合会長・音楽家)指揮により参加者全員で「親神のよざしのままに」を斉唱させていただきました。

星原家 結婚式 牧野家

加治木教会にて仕えられる

九月十三日、加治木教会において在籍信徒星原恭子さんの長男光太郎さんと、牧野吏紗さん（広島市段原教会在籍）の結婚式が仕えられました。

星原光太郎さんは、現在愛知県豊田市に在住しトヨタ自動車株式会社社に勤め、豊田教会にお引き寄せいただき、輔教としても信心の稽古に努め励んでいます。

豊田教会佐野先生のご紹介にて、牧野理沙さんにご縁を頂き結婚させていただくこととなりました。

星原光太郎さんは、お母様の恭子さんの長男として昭和五十五年に生まれて以来、加治木教会前教会長矢



野政美親先生ご夫妻のもとで、お母さん恭子さん方は家族信心に取り組み、まさに信心の中でお育てをいただきました。

星原家は、神様第一・教会第一の生活信心で、幼い頃から教会行事・教会御用中心でおかけを蒙ってきた家庭でありました。

光太郎さんは、子どもの頃からいづも姉弟三人で教会少年少女会の行事に参加し、高校生の時には少年少女会連合本部主催の海外派遣に参加させていただき海外へ視野をひろげる大きなきっかけとなりました。

大学院生るとき、海外留学という機会を頂き、フランスで一年半の勉強をさせていただきました。その後、大学時代に学んだ

ことを生かしてトヨタ自動車株式会社に入社することができ今日に至っています。

加治木教会前教会長矢野政美親先生ご夫妻の、ご祈念・ご教導を頂いての今日であることを、神様・霊

故矢野政美親先生・サダ子親奥様の霊様もご祝福下さり、末永いご多幸をお祈り下さってあることでしょう。

加治木教会の御神前にて



様に御礼申し上げたいという願いで、加治木教会のお広前で結婚式を仕えることとなりました。



誓盃の儀、雄雉雌雉は教会少年少女会後輩の矢野徳子さんと矢野芳恵さん。

年代別キャンプに

参加させていたただいて

その②

矢野芳恵 (高二)

▼三日目 目標「友と繋がる」▲

前日濡れたテント、シートを芝生の上に広げ乾かしていました。



矢野芳恵さん

乾かしている途中また雨が降ってきて、皆で猛ダッシュで走りテントを屋根の下に避難させました。一人では当然出来ないことであり、また六人だけでも無理なことで、リーダーに協力してもらい、協力って大事だなと思いました。

資材などの点検を終わらせ、お昼ご飯をいただき、三日目の活動を始めるために行ったことのない小屋に連れていってもらい、二人一組になって「燻製器」というものを作りました。それと同時にシャツの染物もしました。

燻製器という言葉すら分からない

自分でしたが、説明書を必死に読みながら二人で意見を出し合って段ボールと網を合わせて燻製器を仕上げました。

ベーコン、チーズ、魚を燻製器に入れて焼き、また本部に戻り皆でご飯の準備をしました。

食材の準備、洗い物を女子で主にやり、火の番を男子に任せて、また時間の限りがある中テキパキこなしていきました。

時間にも少しずつ余裕が出来、リーダーと班員計十二人でご飯を囲むよう皆で乾杯し最後の夕食を楽しみました。

その後急いで片付け、キャンプファイアの出し物の準備をしました。

班で劇と歌を急いで作り、限られた時間の中ではありましたが、一番不安であった劇も大爆笑で終わらせることができました。

十二人という小さなキャンプファイアでしたが、笑いが絶えなくて、みんなで沢山歌って、最後には一人ずつ自分の事を語る時間があり、とてもいい思い出ができたと思います。

その後班会議の時間をいただき、

最後の班会議をしました。

今までにないくらい六人で話が盛り上がり上がっていて、この班でほんとに良かったと思いました。

この一日の目標であった「友と繋がる」に皆で目標達成出来たと思います。

蒜山 (ひるぜん) 登山
アドベンチャーキャンプ参加者とスタッフ



▼四日目 目標「教祖様に繋がる」▲
最後の活動クラフトで「シルバー
アクセサリー」を作りました。

99.9%のとても高値の銀を使
わせてもらい、アクセサリーを作り
ました。

六人中成功したのは一人ほごで、
人の意見だけを頼りにするのではな
く、自分で説明書を読みどうしてい
けばいいか工夫して考えていかな
ければいけないということを学びま
した。

これが最後の最後の活動であり、
その後お昼ご飯をみんなで食べ、閉
会式の準備に取り掛かりました。

毎回 班の中から二人【MVP賞】
が選ばれるのですが、それに自分が
入っていたことにビックリしました。

学年一人であり、班長として 皆を
引っ張ってくれたということに 賞
をいただきました。

また シュニアキャンプ・アドベン
チャーキャンプ六年間の継続参加と
して、翌日行われた「わかば祭」で
は、夢であった表彰台に立たせてい
ただきました。



8/10 わかば祭

年代別キャンプ 6年間継続参加の表彰 (矢野芳恵)

▼九年間参加させていたいただいて▲
小学生の時キャンプに出会い、色
んな人に出会ってきました。

中学生の時は、仲の良い友達が来
れないと聞いて、行きたくないと思
うこともありました。

中学三年生の時は 東日本大震災
が起き、キャンプではなくポランテ
ィア活動にも 参加させていただき、
福岡・兵庫・東京の方々とポランテ
ィア活動に参加し、宮城県の石巻の

住民の方とも話をしたりすることも
出来ました。

小学四年生のときから、お道のキ
ャンプに参加させていただいて約九
年間、沢山の思い出や人々に出会い、
学校の友達には体験したこと無いよ
うなツリーハウス作り、カヌーでの
川下り、無人島での生活、過酷な登
山、燻製器作りなど 数え切れない位
体験させていただきました。

今まで参加してきたことが 無駄
にならないよう、これからもっと色
んな知識を身に付け、今回の隊長が
夢であり、また自分の夢でもある「ア
ドベンチャーキャンプに参加した高
校生が リーダーとしてまた戻って
くる」ことが出来ればいいなと思
っています。

加治木教会で キャンプの知識を
身に付け、教える立場に立てるよう
になったら、リーダーとして役に立
てられればと思います。

少年少女会で みんなで活動でき
ればと思います。

(おわり)

鹿兒島地方教会連合会主催

「青年の広場」での講話

講師

平成二十六年六月十四日

金光教小林教会在籍

中村清一先生（三十五歳）



講題

『ステップ・バイ・ステップ』③

▼私のおかげ

私は二十三才の時、教師補命を頂き、その四年後の平成十九年に祖母の入院ということがありました。

祖母が入院して退院するまで、大変なお繰り合わせを頂いていましたが、私はプライベートなことでですが、一月に大学時代から付き合っていた彼女との別れということがあり、心の中の整理がつかず大変な時期だったのです。

しかし、祖母が入院している三週間の間、朝の御祈念から、月例祭に

は祭詞を奏上するなどの、初めての体験で、勉強させてもらうことばかりで、ゆっくり彼女とのこと考える暇もありませんでした。

彼女とお付き合いが続いていたならば、熊本と宮崎で月に一回会う程度でしたから、彼女と会う機会があると、おそらく教会の御用に集中できていなかったと思います。

その別れというのは、私にとっては辛かったことですが、祖母や母の喜んでいく姿に触れながら、私にとっての難儀が、段々とおかげになっていきました。

▼点から線に

祖母の入院の出来事でたくさんのお繰り合わせを感じました。祖母や母は「私が生まれた時からおかげを頂いていた」と言います。

私は、母の胎内にいるときに、流産しかかって、命のないところだったそうです。

それを、両親・祖父母・親戚の、信心されている方々が「この子が御用にお使い下さる子でしたら命を助けて下さい」と祈って下さっていたそうです。そういう中に、命のおか

げを頂き生まれてきたそうです。

四年前、母や祖母の話しを聞いては「なんでそこがおかげなのか」と思っていました。が、だんだんと、生まれたときから、すべて繋がっているように思えるようになってきました。

「点から線に」という言葉がありますが、へたくさんのお繰り合わせの一つひとつが、神様の願いがかけられているんじゃないか…と感じさせてもらうのです。

思いがけない彼女との別れも、祖母のお繰り合わせを考えてみると、余計に、今はへお繰り合わせを頂いていた…と思えるのです。

「お天道様のお照らしなさるのもおかげ、雨の降られるのもおかげ、人間はみな、おかげの中に生かされて生きている。人間は、おかげの中に生まれ、おかげの中で生活を、おかげの中に死んでいくのである。」とのみ教えのように、起こってくるできごと一つひとつが、おかげの中のできごとで、神様の願いの中、祈りの中で、起こってくるできごとではないかと感じるのです。

さらに思いめぐらしてみますと、大学生になった頃、育成活動を強制的にさせられていたように思っていたことも、実は、そういう中で私自身が一番お育てを頂いていたことに気付かされたのです。

このような体験により「起こってくることが、何かしら神様の願いがある」と考えることができるようになっていきました。

一つひとつの点のようまできことが、おかげの中での出来事として繋がって、線になっていることを感じます。

▼信心の目的

ある青年が問いかけてくれた信心の目的ということですが、私の信心の目的を話したいと思います。

現在、甥や姪が四人おります。彼らは、親やみんなのまねをしながら、いろんなことを覚え育って行きます。そのような様子を見ています。〈私は、この子たちに何を残せるのかなくと考えるとせられたりもします。親のまねをして育っていくまを、

まざまざと見せつけられたとき、私様が様々なことをとおして気付かされた、「人間はみな、おかげの中に生かされて生きている」ということ知ってもらいたいと思いました。

そこで、私の現在の信心の目的は「後に続く者に信心という財産を残したい」「親が喜ぶ、神様が喜ばれる生き方を求めたい」「それぞれの家庭が神様を頂き、後に続く信心をして欲しい」としてそれを「人に伝えたい」ということであります。



最近、友達と会う機会が増えていきます。友達は、夫婦の間のこと、仕事のことなどいろいろな問題を抱えていますので、金光教の神様を知ってもらい、神様にお参りしてくれたら、信心して楽になってくれたらいいなという思いが芽生えてきています。

今までの信心の目的は「役に立つ

生き方になる」ことを考えていました。しかし、今では子孫まで続いて行くような生き方で、世のお役に立つようになって行くような願いに変わってきました。

教典の山本定次郎の伝えには、

「信心には何を目的にすればよい。病人は痛いのを治してもらいたいと願い、健康な者は、作がよくできるようにとか、商売が繁盛するようになるとか願って参るが、それは一時のことである。信心するには、末の安心を楽しみにしないと信心が続かない。末の安心のためには、自分一人がおかげを受けただけではならず、子孫に伝わる信心をすることが大切である。家の内が円満で、あるじが信心しなければ、子孫には伝わらない。痛いのを願うのは信心の糸口ではあるが、それでは、治ればお礼参りをして、その後は参らないということになる。自分の心を改めて、よい子供を得るということを、信心の第一の目的としなければならぬ。一代の信心は神様が喜ばれない。末の安心が得られるかどうかは懐妊十月の間にある。その間、親が心を磨

いていなければならぬ。…子孫に伝わるような信心をしなければならぬ。」と、教えられています。

私たちのあり方が、後々の子孫に伝わって行くわけですから、私たちがどんなあり方をして行かなければならないのか、ぜひ、自分の過去を改めて整理して、その時の自分の心や行動はどうだったか、そこにある神様のお働きはどうか、親や周囲の願いや祈りはどうだったのだろうか、と考えてみて下さい。必ず気付かされることがあると思います。私の思いも、親や神様の願いがあつて、一步一步お育てを頂いてきたと思えます。これからも共に一步一步、歩みを進めて行きましよう。

(おわり)

……【解説】……(教会長)……

金光四神様(二代金光様)は「信心は神が下さす。神が恵んで氏子信心をする」とみ教え下されてあります。また、金光鑑太郎様(四代金光様)は「父母のいのちに続くわがいのち 我がものにして 我がものならず」とお詠みになられておられます。

お話しの中から、中村清一先生は、お道の中に生まれお道の中でお育てを頂かれ、神様・霊様・ご家族の皆様方の深いお祈りご

愛情の中でおかけを蒙って、信心を進めてこられての今日であることが感じられます。私共も、神様・霊様・親様にお喜びいただいて、子孫が幸せになることができるよう、一步一步着実に真の信心を努めて行きたいものです。

加治木教会 バンド練習会 〈毎週水曜 午後7時半より〉

連合会主催教祖様ご生誕二百年信奉者集会でも、皆さん喜んでいただきお役に立たせていただきました。



これからもみんなが信心を進めながら、いっしょに楽しく練習して行きましよう。

変わる

人を変えることはできないが、自分が変わるにより、人の見方が変わり、自分の心が救われ人も救われる。信心とは「改まり」すなわち自分が変わって行くこと、自分も人も幸せになつて行く

相手が目の前にいるときに、自分を変えることができれば、幸せであるが、そのためには、日頃当り前・当然と思つて、小さなことから、どんなことでも喜び見方ができるよう、稽古が大切である。教えられるも、しかし、そのことをおろそかにしてしまいがちである。

稽古以外に何も無い信心の稽古をして、幸せな世界を生み出して、だから、私が信心すれば、きっと人も、世界も、過去も、変わる

Ashtamo, Yohini.

甘木親教会 布教110年記念大祭 参拝

10月26日(日)

午前6時半 出発



私どもがおかげを蒙らせて
 いただいている元にある祈り願いを
 わからせていただき御礼申して行きましょう。

- | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------|------------|-------------|--------------|----------|--------------|--------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------|--------------|-------------|
| 30 | 28 | 27 | 23 | 22 | 21 | 18 | 17 | 13 | 10 | 9 | 7 | 1 |
| (火) | (日) | (土) | (祝) | (月) | (日) | (木) | (水) | (土) | (水) | (火) | (日) | (月) |
| 斎掃御用 | 御本部 御大祭 参拝 帰着 | 御本部 御大祭 出発 | ●秋季 霊祭 10時半 | ●月例祭・共励会 併せて | 斎掃御用 10時 | 甘木親教会御用(教会長) | 小倉TSC大会(教会長) | 星原家結婚式 15時 <small>加治木教会にて</small> | ● <small>生神光</small> 大神様 月例祭 10時半 | 斎掃御用 10時 | ●連教祖ご生誕200集会 | ●報徳月例祭 10時半 |

9月

あしあと

加治木教会行事記録

信心成長の願い

矢野クラ様の頂かれた信心へ

自分中心・自己中心の信心から、
 ↓親神様の御立場に立つた信心に。
 親神様を道具に使う信心から、
 ↓親神様がご安心されお喜びになられ、
 お助かりになられる信心に。
 願うおかげのみを信ずる信心から
 ↓親神様・ご神慮を信ずる信心に。

ご霊神様のお立日

十月

平地セイ之霊神	平成 14・10・01
矢野サダ子大刀自之霊神	平成 24・10・03
春山陽子之霊神	昭和 56・10・06
中村正行大人之霊神	平成 23・10・06
大木千鶴子之霊神	平成 16・10・07
上田喜四郎之霊神	平成 03・10・08
中野綾子之霊神	平成 04・10・08
瀬戸淳一之霊神	平成 23・10・10
庄村徳二之霊神	平成 02・10・13
瀬戸秀雄之霊神	昭和 50・10・14
前田照子之霊神	大正 14・10・17
内村 健之霊神	昭和 58・10・17
中野満行之霊神	平成 12・10・18
春山住晴之霊神	昭和 47・10・19
矢野仁吉郎之霊神	昭和 30・10・26
福元フサ子之霊神	平成 15・10・29



「先祖のご霊神様の現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

十月二十六日(日)

甘木親教会 六時十五分 御祈念
 六時三十分 出発
 布教百十年記念大祭 参拝
大型貸切バスにて参拝予定

十一月二日(日) 午前十一時

加治木教会 前日御用奉仕

生神金光大神御大祭 奉仕

※「祭典後、講師の先生により」ご教話。

御大祭・記念祭・式年祭

【10月】

12(日) 人吉教会御大祭 11時

19(日) 多良木教会御大祭 11時

26(日) 上荒田教会御大祭 11時

【11月】

9(日) 西鹿児島教会御大祭 12時

16(日) 鹿児島教会御大祭 11時

23(日) 俵積田教会記念大祭 11時

24(祝) 大口教会御大祭 12時

十月二日～十月三十一日
御大祭前信行期間

ご祈念・研修 午前五時二十分・午前十時
 ご祈念のみ 午後四時・午後九時

教会行事

10月

1(水) ●報徳月例祭 10時半

3(金) 矢野サダ子大刀自立日御祈念 10時

9(木) 斎掃御用 10時

10(金) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半

12(日) 人吉教会御大祭 11時

19(日) 多良木教会御大祭 11時

21(火) 斎掃御用 10時

22(水) ●月例祭・共励会 13時半

25(土) 甘木親教会 記念祭第①日

26(日) ●甘木親教会 記念祭第②日 参拝
 上荒田教会御大祭 11時

31(金) 斎掃御用 10時

《未定行事》

※若婦人会・青年会

加治木教会 バンド練習会

〈毎週水曜 午後7時半より〉

十月二十六日(日)の、甘木親教会
 布教百十年記念大祭バンド演奏。
 それぞれの行事に、今日おかげを
 蒙らせていただいている御礼の心
 を現わさせていただきました。

11月

1(土) 月例祭・御用奉仕 10時半

2(日) ●加治木教会御大祭 11時

6(木) 連合会執行部会 10時半

7(金) 斎掃御用 10時

8(土) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半

併せて 立教記念祭・新穀感謝祭

9(日) 西鹿児島教会 御大祭 12時

新田原教会 御大祭 (教話)

16(日) 鹿児島教会御大祭 11時

20(木) 斎掃御用 10時

21(金) ●月例祭・共励会 13時半

23(日) 俵積田教会 記念祭 11時

24(祝) 大口教会御大祭 12時

30(日) 斎掃御用 10時

※11月は、

10日の月例祭が新田原教会の
 御大祭のため、8日に、

22日の月例祭が俵積田教会の
 記念祭のため、21日に、

日程が変更されています。